

竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第62版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦ください。よろしくお願いいたします。

陸海空の園庭環境

瞬間、瞬間を見守る

発達から環境を考える

大分県大分市の桃園保育園へお伺いしました。園に入るとすぐにある園庭には驚きの環境がありました。そこには大きなプールと一緒にバナナボートやウォータースライダー、いかだ、ターザンロープやアスレチック等があり、「陸・海空」のそれぞれの遊びが用意されていました。一つひとつが、子どもたちの様々な発達を保障するように考えて環境設定されているため、高いところなどの危険回避の力はそこにたどり着くまでの遊具がしっかりと保障してくれるように配慮されていました。

園長の今井先生にお聞きすると「室内のコーナーやゾーンを充実させていく中で、子どもたちの興味を見ていくと、子どもたちは外で遊ぶことにとても興味を持っていくことに気づきました。実は園庭もコーナーやゾーンの一部

なのだと考え、室内のようにもって子どもたちが選択できる環境設定をしていきたいと思いつきました。」と仰います。子どもの姿から自分たちの取り組みや環境を考えて工夫していくという姿勢を、私たちクルーも大切にしていきたいと思えます。



子どもを信じることの大切さを体験しました



陸海空の環境設定

子どもの成長を形にしたポートフォリオを、毎年制作されているパール幼稚園様に、長く続けられている秘訣をお聞かせ頂きました。こちらの園様ではポートフォリオ以外にも子どもたちの写真を、毎週クラスごと35枚をホームページにアップして保護者の方にご覧頂いたり、半月ごと各クラス10枚のベストショットをムービーにするなど、写真を職員間の情報共有や保護者とのコミュニケーションツールとして上手に活用されています。そのため先生方はベストショットを狙い、目を皿のようにして子どもの一挙手一投足を常に観察しているのです。

最初は保育の合間に写真を撮るなんて出来るかなといった不安もあったとおっしゃいます。ただ、これを実践するために先生同士のコミュニケ

ーションと、日々の振り返りが必要不可欠で、お互いに声を掛け合うことで負担を分け合い、定期的な話し合いで更に新しいアイデアや改善が見えてくるのだそうです。



園内の壁には至る所に子どもたちのベストショットが！

「今度は自分のクラスだけじゃなくて、チーム同士で互いに撮り合ったら、先生と子どもの関わりも撮れるねとか、写真を選びながら、この時こうだったとか、もっとこんな工夫しようなんて、その都度、色々な話が出てくるんです。」そう嬉しそうに話される先生の瞳が、子どものようにキラキラと輝いていたのがとても印象的で、毎日を本当に楽しんでいらっしやるのだと実感した瞬間でした。

大阪府東大阪市にありません、たいよう保育園様にお伺いしました。2月にギビングツリー(以下、GT)にご入会され、GT関西地区の勉強会の参加、藤森先生の『21世紀型保育のスヌメ』のDVD全巻を園内研修で見ると、精神的に活動されている園です。

園長の西島先生は「園内の動線、特に0・1歳の睡眠と食事をどうしていくか考えています。近隣にはGT加入園もあるのですが、今後、職員を順番に見学させてもらいたいと思います。」と話され、課題にも積極的なお姿が印象的でした。



子どもたちの発達が見られる遊具



考えられた幅間

また園庭についてお聞きすると「子どもたちの遊びの興味や発達を引き出す安田式遊具を使っています。以前に比べ遊び込む姿が見られるようになりました。」と子どもたち一人ひとりの発達を見て保育

をしていきたい思いが遊具にも現れていることを感じました。今後少しずつ遊具を充実させていきたいと考えている中で、「先生方が発達をどのように見ていくかも重要です。すぐに見られるようにはなりません。が、時間を掛けてやっていきたいと思えます。」と西島先生は仰います。

CCN Caguya Company News カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

夏季実践休暇

昨年に引き続き、今年の夏もカグヤでは、クルー一人ひとりが「子ども第一主義」の理念の実現に向け、各々が研究テーマを持ち実践を行う「夏季実践休暇」を頂きました。

名前を改めて2年目となる今回の実践休暇では、地元の人も行かないような秘境を目指して道なき道を歩いた者や、自らのルーツをご先祖様や歴史から辿る者、雄大な自然との一期一会を楽しんだ者など、各々が行く先々でのご縁を大切に、時間や機会をフルに活かそうとすることで、今年も多くの学びや学びを得ることが出来ました。



全国各地へ飛んだクルーたち



雄大な自然からは神々しさを感じます。



ルーツを辿って出逢った一品!



報告会で気付き学びを共有しました。

実践休暇を終えた後、会社に持ち寄ったお土産を囲んで、気付き・学びをそれぞれ共有しました。訪れた場所も深めた内容も違うため、仲間の実践休暇に興味津々で楽しい報告会となりました。また、休暇中もお互いのことを思いやっていたこと、別のクルーの発信から勇気づけられていたことが分かること、改めてこの実践休暇がチームとしての取り組みであり、豊かな時間だったことを感じました。

各クルーの「夏季実践休暇の様子」は、弊社ホームページの「カグヤクルーブログ」でご紹介させて頂いています。

出産祈願

これまで妊婦のクルーがいることをお伝えしてきましたが、いよいよ9月の出産に向け、産休に入ることになりました!

最後の出勤日、会社近くの熊野神社で安産祈願をしたお守りと、「カグヤ特



皆の気持ちがぎゅっしり!



安産の願いを込めて...

製出産祈願メッセージの色紙を渡し、皆で激励しました。色紙には、赤ちゃんとお会いすることを心待ちにしていることや、お母さんとなったクルーとの再会を楽しみにしていることなど、皆のクルーへの気持ちが書かれています。

仲間が迎える新しい命。それは、本人だけでなく「カグヤ一家」としても新しい節目だと感じています。大事なこのときを一緒に歩めることを嬉しく感じると同時に、今しかないこの時をお互いに味わっていきたいと思っています。

まさに、「一家のめでたこと」です!

奇跡のミニトマト

先月、社内ガーデンのミニトマトが実ったので、皆で「収穫祭」を行いました。6月に苗を購入し、周りのアドバイスを頂いて、脇芽摘みをしたり、花をゆすったり(社内には虫も風もないため)、日々成長を楽しんでいたのですが、実がついた時は本当に感動しました!しかも、一つでも十分どころ八つも実り、窓も開かない総合空調の社内、肥料もない中、よくぞこんなにも立派に実をつけたなあと、トマトの力に驚かされ

一期一会庵

不易と流行

先日、千葉の不耕起栽培を実践する藤崎農場にお伺いし一緒に稲刈りを行いました。

田植えから一緒に取り組んできましたが、一緒に取り組むことの味わい深さが何よりの収穫でした。新米をいただく作り手の生き方が如何に間接的に作るものに影響を与えているかに気づきま

す。無農薬とか有機栽培とかが問題ではなく、どのような丹精と真心であったかを私たちは察しなければなりません。それを一連の作業を通して、その取り組み姿勢や生き方を通して学んだ御米作りになりました。

藤崎さんは「安心(自然耕)とお客様が喜ぶ美味しい御米(感動)をつくる」という理念のもと25年間創意工夫を一切怠らず探究されました。そこには、昔から大事にしている理念はそのままだ時代の

奇跡を感じました。トマトを皆でいただく、これまでのプロセスも重なり、なんとも感慨深い気持ちになりました。そして、一瞬で食べ終わってしまう寂しさから、命の重み、ありがたみを実感する機会にもなりました。



立派に赤く実ったミニトマト



皆で一つずつ摘んでいただきました!

流れに合わせて味も道具も設備も変化させていきました。本質を守るために変えないこと、変わり続ける中で本質を守るということも唯々自分の求める正直な道の実践です。今回の稲刈りでも不易と流行は決して分かれていたのではなく、そのものの本質は一体であることを学び直しました。

私たちが理念を大切に常に本質であり続けられるように、素直に謙虚に研鑽を続けていきたいと思います。

編集後記

今月も新聞づくりを通して、皆様の沢山の実践、挑戦から、改めて発達を見守るための「環境」の大切さを教えて頂きました。誠にありがとうございました。

最近秋らしく過ごしやすい季節になりましたが、朝晩は気温の差が激しいので皆様、体調管理には充分気を付けてお過ごし下さいませ。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。



本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月~金 9:00~18:00
(土・日曜祝祭日を除く)